

# TABLE FOR TWO

## かわら版

第17号  
2014年7月



これまでに集まったご寄付

**2,718万4,457食**

(2014年6月末時点)

(タンザニア ムボラ村のカシシB小学校)

## タンザニア ムボラ村 増える給食メニューのバリエーション

タンザニア西部に位置するムボラ村では、17の小学校に給食を提供しています。トウモロコシの粉をお湯で練って作った「ウガリ」と呼ばれる主食に、豆のスープや野菜、小魚、果物などを添えています。

ウガリは手で食べるのが現地の習慣で、街のレストランでウガリを注文すると、スプーンの代わりに手洗いの水が出てきます。子どもたちも給食のウガリを手でちぎり、スープに浸して食べています。

### 野菜や小魚を日替わりで



給食の材料には、トウモロコシの粉や豆の他に、トマトや玉ねぎ、葉もの野菜、小魚の干物、オレンジなどを使います。日によって違う具材をスープに入れ、メニューにバリエーションをもたせています。

### 学校菜園からも食材調達



小学校への食材の配布は2週間に一回です。それぞれの学校では敷地内に畑を作り、生徒たちが当番制でカボチャやサツマイモ、ヒマワリなどを育て、給食の材料として使っています。

TABLE FOR TWO代表より



皆様からのご協力のもと、2011年9月から支援を開始したタンザニア ムボラ村での学校給食支援事業は、少しずつですが着実に進歩しています。日々食材の組み合わせを変え、食の楽しみを子どもたちに味わってもらおう工夫がなされています。学校菜園も拡大しており、収穫物の半分を給食に、半分は販売して現金収入にする、といった、自立に向けた取り組みが進んでいます。

## タンザニア連合共和国

- 首都：ドドマ
- 言語：スワヒリ語、英語

アフリカでも有数の大自然に恵まれ、豊富な観光資源を誇るタンザニアは、近年は経済的にも成長を続けています。一方で、農村部における貧困率は依然として高いままです。

